

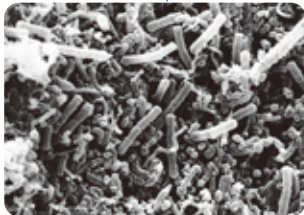
歯ブラシの毛先が当たらないと、プラークを取ることができません。

歯周病やむし歯の原因は、プラークと呼ばれる細菌の塊です。このプラークは、近年の研究で細菌が出す分泌物であるフィルムに覆われて歯面に強固に付着するバイオフィルムの一種であることがわかってきました。このバイオフィルムは、歯ブラシの毛先が当たらないと取ることができません。



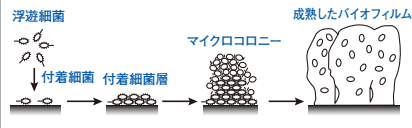
口腔内写真
(プラーク)

プラークを
拡大すると



電子顕微鏡写真
(バイオフィルム)

■バイオフィルム形成図



デント、マキシマは超薄型ヘッド(2.6mm)だから、狭いお口の中のすみずみまで、キレイにみがくことができます。

わずか**2.6mm**
の超薄型ヘッド
で狭いお口の中でも
動かしやすい



2.6mm

ロングネック
で奥歯の歯まで
ラクラク届く



ラバーグリップ
ですべりにくく
持ちやすい

歯肉の状態に合わせて選べる
3種類の毛のかたさ。



ライオン歯科材株式会社



DENT. MAXIMA リーフレット

歯科用

最後臼歯部までもっと楽に!もっとキレイに!

DENT. MAXIMA

Toothbrush

デント、マキシマ

超薄型ヘッド(2.6mm)で
奥歯のすみずみまで
しっかりみがける!



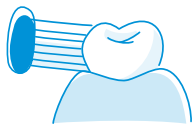
2.6
mm

LION

ブラッシングの基本

1

毛先を歯面や
歯と歯ぐきの間に
きちんと当てる。



2

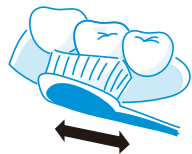
毛先が広がらない
くらいの軽い力で
(150~200gが目安)。

強く押しつけると、
毛先が開いて
上手にみがけません。



3

小刻みに動かして
1~2本ずつ
(5~10mmが目安)。

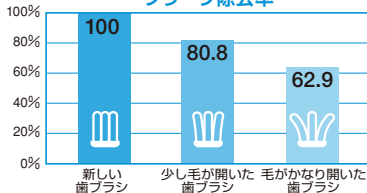


歯科医院で、デンタルフロスや歯間ブラシの使い方、
ブラッシング指導を受けて、お口の状態に合った
ブラークコントロールを行いましょう。

毛先が開いたら、歯ブラシを交換しましょう。

毛先が開くと、ブラークを効率的に取り除けなくなります。

ブラーク除去率



参考資料：武倉良恵ら、歯ブラシ穂毛部の状態による
歯垢除去効果の比較、歯科衛生士 11 (11) :24,1987.

奥歯の喪失年齢が早いのは、キチンとみがけていないからです。

奥歯周辺は狭くて歯ブラシが当てにくいので、プラークが残りやすく、
歯の寿命も奥歯が短くなっています。

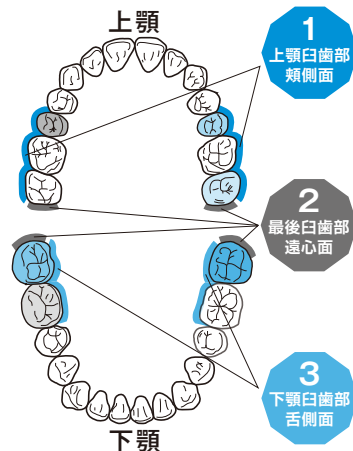
リスク部位

歯の喪失年齢は臼歯部が最も早くなっています。

ワースト	男性	女性
NO.1	左下顎第2大白歯 (58.2歳)	右上顎第2小白歯 (58.8歳)
NO.2	右下顎第1大白歯 (58.3歳)	右下顎第2大白歯 (59歳)
NO.3	左上顎第2小白歯 (59.2歳)	右下顎第1大白歯 (59.5歳)
NO.4	右上顎第2小白歯 (59.4歳)	左上顎第2大白歯 (60.4歳)
NO.5	左上顎第2大白歯 (59.9歳)	左上顎第2小白歯 (60.6歳)

資料：平成17年千葉県歯科保健実態調査

頬粘膜や舌の影響でブラッシングしにくい部位



① 上顎臼歯部頬側面



② 最後臼歯部遠心面



③ 下顎臼歯部舌側面

